

命と暮らしを守り、2万2千人でも 幸せに暮らしをせざるまちを実現するための方針

政策の基本方針

昨年8月の豪雨災害では、上桧木内・桧木内地区を中心に住家や農地・農業用施設などへ甚大な被害が生じ、復旧・復興は今なお道半ばにあります。また、クマ出没が全国的に異常なレベルで続き、仙北市においても市街地で「緊急銃猟」を実施せざるを得ない状況となるなど、市民の命と暮らしを守る行政の責務が改めて突き付けられた1年でした。

さらに、国際情勢の不安定化や世界的な物価上昇なども自治体経営にも確実に波及しています。また、観光分野ではインバウンドの回復が追い風となる一方、受入環境の整備や人材確保、災害対応を含めた安全・安心の確保が、地域の選ばれ方を左右する時代になっています。こうした外部環境の変化を前提に、守るべきものを守り、伸ばすべき分野に重点を置くメリハリのある市政運営を進めます。

加えて、人口減少と少子高齢化は、仙北市の保育・教育、公立病院、公共交通、地域コミュニティ、さらには産業の担い手確保に、年々大きな影響を及ぼしています。一方で、人口が減る

こと自体を悲観するのではなく、まちの規模が変わっても「このまちで生まれ、暮らし続けることが幸せだ」「仙北市で暮らす魅力」を市内外に伝えたい」と実感、発信できる仕組みを整え、都市にはない魅力を磨き、将来に希望が持てる仙北市をつくりあげることこそが、市政運営の核心です。

この考えのもと、本市では、第3次仙北市総合計画・第4期仙北市総合戦略・第4期仙北市SDGs未来都市計画を一体的に捉え、まちづくりの羅針盤として整理し、進むべき方向と優先順位を明確にしていきます。

また、令和8年度重点方針を市政運営の柱に据え、各施策を現場の声とデータに基づいて磨き上げながら、着実に実行へ移していきます。

令和7年度は、攻めと守りの両面から行政改革を進め、DX推進計画や組織体制の見直し、公共施設再編、政策人材育成など、次の世代へ地域を継承するための基盤づくりを進めてきました。令和8年度は、その基盤を実効性ある成果につなげる段階へ1歩踏み込みます。

業務処理のスピードアップとペーパーレス化を実現します。これらのデジタル化により、市民の利便性向上と行政事務の効率化を図ります。

重要です。行政として、関係機関や事業者と連携しながら、働きやすい職場環境づくりや、多様な生き方を尊重する地域づくりを後押しします。若者同士がつながる機会づくりや、市民参加の仕組みの充実も進め、世代や立場を超えて挑戦が生まれる土壌を育てます。

守りの方針 3枚の盾

公共施設の

ストラップアンドビルドの実施

公共施設は、市民サービスの基盤である一方、老朽化への対応と更新費の増大が大きな負担となっています。人口規模が変化する中でも必要な機能を確保し続けるためには、施設を「維持すること」自体を目的化せず、機能と配置を見直し、将来負担を抑えながらサービスの質を守る決断が不可欠です。個別施設ごとの点検を進め、統廃合・複合化・長寿命化・民間活力の活用などを組み合わせ、地域の実情に即した選択をしていきます。併せて、災害時の拠点性や住民の安心につながる機能を重視し、「守るべき機能は守り抜く」再編を進めます。

DXを活用した行政サービスの

スピードアップ

行政サービスの迅速化に向けて、オンライン申請手続き数の拡充を進め、市民が自宅から24時間365日、いつでも申請できる環境を整えます。また、庁内では電子決裁システムや文書管理システムを導入し、紙による起案書作成や庁舎間移動を伴う決裁業務を減らすことで、

6つの重要方針 攻めの方針 3本の槍 守りの方針 3枚の盾

攻めの方針 3本の槍

全産業における若年層の雇用促進

若年層が地域に根を張り、将来の生活設計を描ける環境を整えることは、人口減少局面における最重要課題です。観光・農林業・製造業・建設業・医療福祉など、あらゆる分野で人手不足が顕在化する一方、仕事の魅力や成長機会が見えにくいという課題もあります。

そこで、産業ごとの「担い手確保」と「稼ぐ力の強化」を同時に進め、働き方改革や生産性向上、付加価値化、創業支援、人材のマッチングを重層的に展開します。若者、特に女性が挑戦できる受け皿を増やし、地域内外の人材・企業・資本が循環する仕組みをつくることで、「働く場」と「選ばれる地域」を一体で実現します。

1人ひとりに寄り添った

徹底した子育て支援

子育て世代が安心して出産・子育てを続けられることは、地域の未来その

中期財政計画を基盤に、必要な投資と抑制すべき支出を切り分け、事業の成果検証と見直しを重ねながら、将来にわたり安定した財政構造を構築します。併せて、困難な課題から目を背けることなく、市民への説明責任を果たしながら改革を進め、市民の命と暮らしを守り抜く「骨太な行政」を実現していきます。

さらに、この「骨太な行政」を実効性あるものとして運用できるよう、若手職員を中心に、政策立案力や財政的視点を含む幅広い能力の育成を、着実に進めていきます。

以上の重要方針のもと、復旧・復興、防災・減災、鳥獣害対策、公立病院改革、学校のあり方、公共交通の確保など、避けて通れない課題に真正面から向き合いながら、希望につながる挑戦を積み重ねます。市民の皆さまとともに、幸福度全国No.1という目的地へ向け、仙北丸の一員として歩みを進めていきます。

各産業別の取組について

まちづくり・移住定住関連

「デジタル田園都市国家構想交付金」や「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の後継で、地方創生を加速するため、地場産業の成長、デジタル化推進、広域連携、防災・生活環境改善などを支援する新しい地方交付金「地域未来交付金」を活用し、高度外国人材創業受入事業などを展開します。

ものです。妊娠前から子どもの成長段階に応じて切れ目のない支援を整え、医療・福祉・教育・地域が連携した「理解され、支えられる仕組み」を確かな形にしていきます。

病児病後児などの支援体制、重層的支援、家庭の状況に応じた相談・伴走支援を充実させ、保護者の不安や負担を軽減します。さらに、子どもの健やかな育ちを中心に据え、子育てと就労の両立、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進め、若い世代が「このまちで子育てをしたい」と実感できるまちを目指します。

若者・女性が暮らしやすい、

働きやすい地域・職場づくり

定住・移住の促進は、移住を促す取り組みだけでは完結しません。実際にここに住み、日々を暮らすことが、より魅力的であることが重要であり、それは市民のみならずまの生活の質をあげることそのものです。すなわち、働く環境、学び直しやキャリア形成の機会、安心して相談できる窓口、地域でのつながり、文化・スポーツなどの活動機会、移動のしやすさなど、「暮らしの総合力」が問われます。

特に若者・女性にとって、職場の柔軟性や安全性、地域の居場所づくりは

移住定住関連では移住体験事業と地域みらい留学を軸に移住を前提とした取り組みを進めながら、国が進めている二地域居住、ふるさと住民登録制度などの検討を始めます。また公共交通対策は令和9年度からの次期地域公共交通計画の策定に向け、仙北市公共交通会議での議論を進めます。さらに、空家対策として昨年度に改正した条例のもと、空家の解体補助金を強化するなど所有者自らが行う取り組みに対し、積極的な支援を行います。

観光関連

令和8年度は仙北市が目指す持続可能で質の高い観光地形成において非常に重要な年となります。インバウンド戦略の再構築と農泊の取り組み拡大、令和8年1月に重要文化財指定を受けた「岩橋家」の保存と活用、1000年先を見据えた桜の景観事業の実施など、市民が豊かに暮らし続けるための財産でもある地域資源を最大限に活かし、高付加価値化と交流・関係人口の拡大を図り地域の活性化につなげていきます。

農業振興関連

農業振興では、策定された14地区の地域計画を基本に、地域農業が目指すべき農地利用の姿の実現に取り組みむとともに、不安定な米価や高止まりしている資機材価格などの動向を注視し、持続可能な農業経営の取り組みを推進します。

令和8年4月1日

仙北市長 田口 知明

令和8年度 仙北市の予算総額

399億2,744万4千円
(前年度比9億5,131万1千円 2.3%減)

一般会計 — 226億1,000万円
特別会計 — 84億4,635万7千円
企業会計 — 88億7,108万7千円

幸福度全国No.1を目指すまちとして、全産業における若年層の雇用促進、徹底した子育て支援、若者・女性が暮らしやすい、働きやすい地域・職場づくり、防災力の強化に重点を置いた予算編成です。

令和8年度仙北市当初予算は、人口減少と少子高齢化の同時進行に加え、物価高騰や人件費・金利上昇などにより財政環境の不確実性が高まる中でも、「幸福度全国No.1のまち」を目指す理念の下、市民生活の安心・安全と地域経済の持続性を両立させる施策に重点を置いた予算です。一般会計は、前年度比13億6,700万円の減となる226億1,000万円の予算規模となっています。

詳しい予算は…

仙北市ホームページ (<https://www.city.semboku.akita.jp/government/information/yosantop.html>) からご覧いただけます。



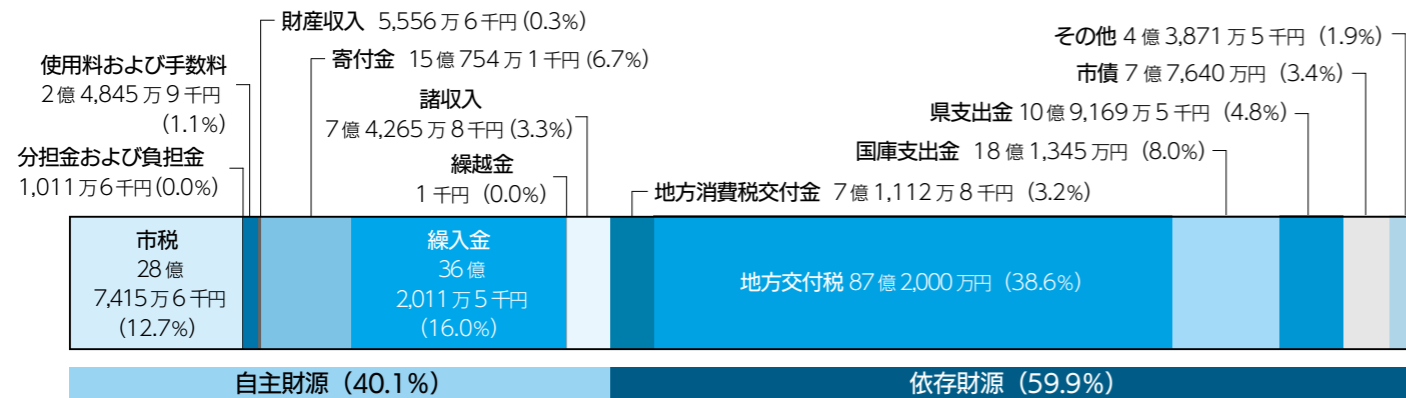
一般会計・特別会計・企業会計予算総括表

会計名	令和8年度予算額	令和7年度予算額	比較	伸び率
一般会計	226億1,000万円	239億7,700万円	△13億6,700万円	△5.7%
特別会計	84億4,635万7千円	79億9,728万3千円	4億4,907万4千円	5.6%
集中管理特別会計	43億7,736万8千円	42億3,429万2千円	1億4,307万6千円	3.4%
国民健康保険特別会計(事業勘定)	27億5,043万5千円	26億5,536万1千円	9,507万4千円	3.6%
国民健康保険特別会計(神代診療施設勘定)	6,902万8千円	6,878万9千円	23万9千円	0.3%
後期高齢者医療特別会計	5億2,511万3千円	4億444万8千円	1億2,066万5千円	29.8%
介護保険特別会計	5億8,697万1千円	5億647万8千円	8,049万3千円	15.9%
生保内財産区特別会計	8,600万円	8,565万1千円	34万9千円	0.4%
田沢財産区特別会計	5,000万円	3,700万1千円	1,299万9千円	35.1%
雲沢財産区特別会計	144万2千円	526万3千円	△382万1千円	△72.6%
企業会計	88億7,108万7千円	89億447万2千円	△3,338万5千円	△0.4%
病院事業会計	60億7,423万8千円	60億249万6千円	7,174万2千円	1.2%
温泉事業会計	1億334万5千円	1億1,019万5千円	△685万円	△6.2%
水道事業会計	12億6,843万4千円	11億5,285万7千円	1億1,557万7千円	10.0%
下水道事業会計	14億2,507万円	16億3,892万4千円	△2億1,385万4千円	△13.0%

一般会計予算の状況(歳入)
市税は個人市民税の増などで前年度より1億8,524万4千円増の28億7,415万6千円を見込みました。地方交付税は総額1億4,000万円増となる20億2,000万円を計上し、繰入金は財政調整基金が2億5,800万円増となる5億6,500万円、ふるさと仙北応援基金が3億2,299万9千円増となる28億4,487万3千円を計上しています。市債は、庁舎整備事業債(旧合併特例債)の皆減などで21億1,570万円減となる7億7,640万円となっています。

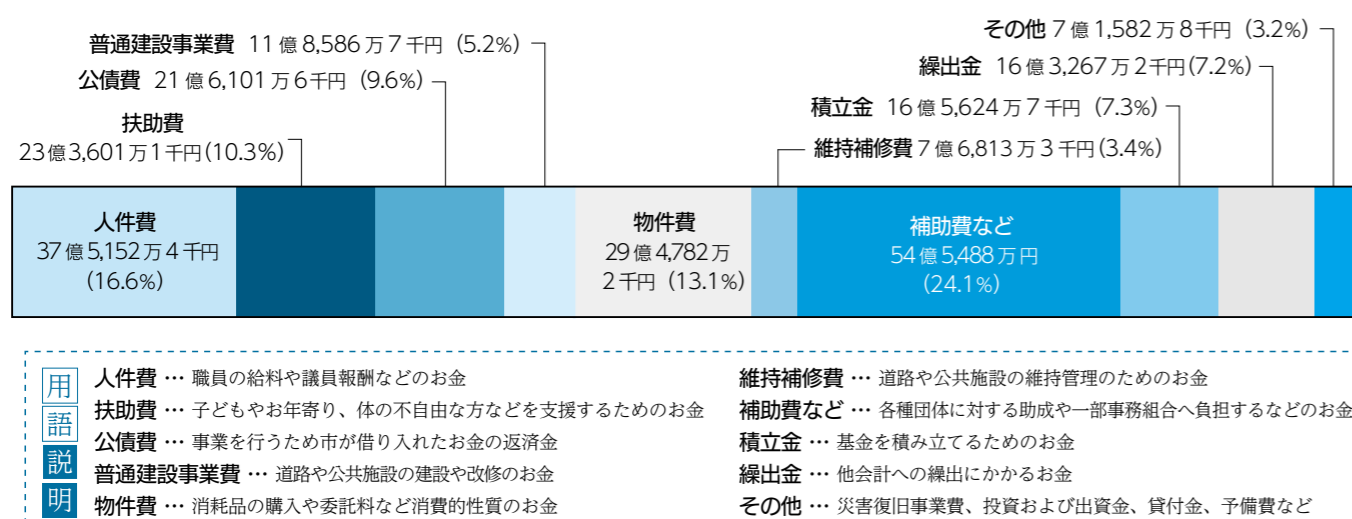
一般会計予算の状況(歳出)
義務的経費は人件費が給与改定による増などにより632万1千7千円増の37億5,152万4千円、扶助費が児童手当給付費などの減により332万6千5千円減の23億3,601万1千円、公債費が686万4千2千円増の21億6,101万6千円となっています。投資的経費は普通建設事業費が角館上野庁舎整備に係る庁舎整備事業費の減、内川橋(3期目)等改良工事に係る社会資本整備総合交付金事業費の減などにより19億8,646万6千円減の11億8,586万7千円となっています。そのほかの経費では、物件費が学校給食調理業務に係る委託料の増などにより843万4千1千円増の29億4,782万2千円、補助費などが市立病院運営に係る病院事業会計補助金の増などにより1億7,232万5千円増の54億5,488万7千円、繰入金为空調設備改修などにより介護保険特別会計繰出金の増などにより1億9,699万9千円増の16億3,267万2千円となっています。

歳入の内訳



- 用語説明**
- 市税…市民税や固定資産税など
 - 分担金および負担金…施設入所者の負担金など
 - 使用料および手数料…施設使用料や戸籍等の証明書交付手数料など
 - 財産収入…預金利息や市所有物の売却収入など
 - 寄入金…寄付でいただいたお金
 - 繰入金…他の会計・基金から繰り入れたお金
 - 繰越金…前年度残ったお金
 - 諸収入…貸付金の元利収入など
 - 地方消費税交付金…地方消費税から一定の基準で地方に交付されるお金
 - 地方交付税…地域間の財政力格差を調整するために国から交付されるお金
 - 国庫支出金…特定の事業に対し、国から交付される補助金など
 - 県支出金…特定の事業に対し、県から交付される補助金など
 - 市債…大きな事業を行うために借り入れるお金
 - その他…地方譲与税や各種交付金など

歳出の内訳 (性質別)



令和8年度
主要事業

「攻め」と「守り」の政策で課題に立ち向かいます

01

目標を持ち、やりたい
ことがある人が多いまち

▼青少年国際交流事業費

294万9千円

受け入れ態勢の整備と国際的視野を持った人材育成を目的として教育旅行を含む国際団体の受け入れや青少年の訪台交流事業などを実施する。

▼人と地域を創生する観光誘客事業費

(令和7年度国補正予算・繰越明許)

1289万円

地方訪問意向が高まっている訪日外国人を呼び込み、仙北市の総生産の増加を図るため市民参加型のインバウンド事業を展開し、市民主導の経済効果の上がる観光宣伝事業に発展させていく。また、台湾「高雄マラソン」へ市民ランナーを派遣し友好交流を図る。

▼リトリート推進事業費

146万9千円

アーティストの方々に豊富な自然、景観、文化を体験しながら創作活動をしてもらうことで質の高い情報発信や親和性の高い関係人口の創出を目指す。

▼重要伝統的建造物群保存地区

選定50周年記念事業費

237万円

仙北市角館伝統的建造物群保存地区が、令和8年度国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されて50年の節目を迎えることから、記念シンポジウムを開催し、現状の課題と次世代への継承に向けた施策の共有を図る。

02

やりたいことにチャレンジ
している人が多いまち

▼インターナショナルスクール

推進事業費

656万4千円

採用イベントに出展する市内中小企業に対し、経費の一部を支援することで、Aターンを中心とした市外人材の採用機会を拡大する。

03

日々の暮らしで生きがい
感じている人が多いまち

▼移住体験推進事業費

769万6千円

移住希望者向けに移住体験事業を展開し、仙北市に住み生きていく具体的なイメージの醸成を通じて、より多くの人がより幸福な移住を実現できるようにする。移住体験ツアーの企画・実施や、移住体験住宅の整備・運営などに係る経費を計上する。



▼角館高校地域みらい留学推進事業費

360万2千円

秋田県立角館高校と仙北市が共同で県外学生の入学受入（地域みら

▼ふるさと納税ふるさと便

仙北市魅力発信事業費

9億3679万8千円

ふるさと納税事業の推進により、市の財源を確保するとともに、市内産業の活性化を図る。また、仙北市の魅力発信事業として情報発信を強化し、特産品を中心とした市の魅力を全国に向けて発信する。



▼有害鳥獣駆除事業費

2518万4千円

野生動物による農産物・林産物被害および人的被害防止のため、有害鳥獣捕獲を実施するとともに、侵入防止柵設置費用や農地の掘り起

の整備と道路構造物などの長寿命化に向けた取り組みを実施する。

▼冬期交通対策費

6億5588万5千円

安全・安心な交通確保のため適切に道路を管理し、管理瑕疵を原因とした事故発生件数ゼロを目指す。

また、冬期降雪時においても円滑な交通を維持するため、除雪機械の更新などを含めた万全な除雪体制を整える。



▼仙北市女性の活躍推進事業費

48万4千円

女性活躍推進法に基づき、地域の女性が活躍できる社会を推進する。市内の女性が中心となって実施される「おしごと体験キッズマルシェ」に対し補助金を交付する

▼道路緊急自然災害防止対策事業費

2930万円

市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装など

し被害復旧費用の一部を補助する。急増するイノシシ・ニホンジカ・ツキノワグマへの対応策を講ずるとともに、狩猟者登録費用の一部を助成することで新規猟友会員の増加を図る。



▼仙北市有害鳥獣誘引樹木

伐採事業費補助金

300万円

ツキノワグマを誘引する樹木の伐採を行う者に対する伐採費用などの補助金を交付する。

▼仙北市中小企業採用活動

支援事業費補助金

90万円

秋田県が主催する県外で開催され

04 暮らしの中で、健康になれるよう努力している人が多いため

▼すこやか子育て保育料助成事業費
3,234万6千円
私立の認定こども園、認可保育所、幼稚園、認可外保育所、地域型保育事業の利用者に対して保育料・副食費を助成する。

▼就学前教育・保育施設主食費
無償化事業費
2,822万9千円
育児に係る保護者の負担軽減のため、3歳以上児への主食（米飯）の無償提供を行う。

▼保育所等おむつ無償化事業費
7,677万1千円
育児に係る保護者の負担軽減のため、0歳児から2歳児に対して、園内で使用する紙おむつの無償提供を行う。

▼乳児等通園支援事業費
25万3千円
子ども・子育て支援法に基づき、保育所などを利用していない6か月

▼中学校統合関係事業費
2,147万3千円
中学校統合を進めるため、統合関係校による統合準備委員会を設置し、統合に必要な協議を行う。



06 頼れる人がいるまち

▼地域おこし協力隊事業費（総務部）
4,422万2千円
市が指定管理する温泉宿泊施設をはじめとする宿泊需要の拡大と地域ブランドの向上を図るため、地域おこし協力隊の知見と発信力を活用し、SNSなどを通じた効果的な情

から満3歳未満の子どもが、保護者の就労状況にかかわらず、市の認可を受けた保育施設を利用することができるよう支援する。

▼社会福祉法人はなさき仙北補助金
3億7,000万円
認定こども園の管理運営を行う社会福祉法人の円滑な運営に資するため必要な補助を行う。



▼MRI検診補助金
1,022万7千円
乳がんの早期発見・早期治療を促進するため、秋田大学医学部卒の医師が考案した「無痛MRI乳がん検診」に係る検診費用の一部を助成する。令和8年度からは1件につき1万7千円を上限とし、検診実施機

報発信と集客企画を実施し、地域観光の持続的な発展につなげる。

▼宿泊施設誘致対策事業費
60万7千円
宿泊施設の誘致のため、首都圏などの宿泊運営・不動産事業者へ訪問し、新規建設を促すとともに、廃ホテルなどの老朽施設の改修・撤去再活用を推進する。繁忙期の供給不足を解消し、景観の改善と観光地としてのイメージの向上を図り、受入体制の強化、観光振興および地域経済の発展につなげる。

▼災害対策総務費
4,797万6千円
新たに指定された浸水想定域を反映させ、ハザードマップを改訂する。また、災害に備え計画的に非常食・水を確保するとともに避難生活環境改善のため、大型トイレカーを購入する。



関へ補助を行うことで、申請手続きの負担軽減を図る。



▼病院事業会計補助金
14億8,000万円
両病院の運営を支援するため、一般会計から補助金を交付する。

▼給食材料費
9,944万9千円
食材高騰に対応しながら安心安全な給食提供を通じて、児童生徒の食育促進や地元食材使用による地産地消の推進を図る。また、児童生徒の思い出となるスペシャル給食を実施する（うち給食費無償化分7,459万円）。

▼学校給食費無償化事業費
4,287万7千円
令和8年度から実施する学校給食費無償化に伴い、特別支援教育就学奨励費の対象となっている生徒および非喫食者となっている児童、生徒

07 自分の居場所や役割があるまち

▼庁舎整備事業費
1億9,077万8千円
行政運営効率性の大幅な向上を図るため、分散化した庁舎機能の一部集約を図る。令和8年度は田沢湖総合開発センターおよび旧田沢湖保健センターを除却する。

▼公共施設等マネジメント事業費
4,551万9千円
公共施設の統廃合などを計画的に実施することにより、長期的視点からの財政負担軽減および平準化を目指す。令和8年度は主要公共施設の照明LED化を推進する。



に対し給食費相当分を補助する。



05 自分のことを大切に思ってくれる人たちがいるまち

▼仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費
5,377万7千円
市内企業の職場体験・企業説明会、仙北市で活躍する方から選定する「キャリアマイスター」による講演などを、小・中学生を対象に実施することで、児童生徒の「仙北市で働き生きていくイメージ」を養い、将来的な若者の地元企業就職率の向上を目指す。

▼小学校統合関係事業費
1,609万9千円
小学校統合を進めるため、統合関係校による統合準備委員会を設置し、統合に必要な協議を行う。



※ 2月24日より開庁した角館上野庁舎

詳しい事業の内容は…

一般会計、特別会計および企業会計について、当初予算の概要をまとめた資料を仙北市ホームページ (<https://www.city.semboku.akita.jp/government/information/yosangaiyo.html>) に掲載しています。右に記載の二次元コードからもご覧いただけます。

